

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民文化ホール	所管課	生涯学習文化課
所在地	甲府市寿町26番1号	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年11月23日
管理方式	指定管理者(アドブレーション・共立・NTT-F共同事業体 平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例		
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、県民文化ホールを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	大ホール(1,989人)、小ホール(700人)、会議室(257㎡)、リハーサル室(243㎡)、練習室 5室 うち3室(42㎡) うち2室(98㎡)、レストラン(約100人)		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務。 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 (3)文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)舞台芸術の公演の実施に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	甲府市総合市民会館 大ホール(2,000人)、小ホール(300人) アリーナ形式 河口湖ステラシアター 大ホール(3,000人)、小ホール(200人) 野外施設 東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人) 2,000人規模の屋内音楽ホールととらえると類似施設はないといえる。
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	289,924	309,635	320,486	
	事業参加者 (内文化ホール外)	30,475 0	38,101 0	30,587 0	
	利用者数合計	320,399	347,736	351,073	
	目標値	350,000	350,000	350,000	350,000
	目標値設定の考え方	指定管理者申請時に、前指定管理者の実績を基に設定。 (前年比3%増)	指定管理者申請時に、前指定管理者の実績を基に設定。 (前年比同)	指定管理者申請時に、前指定管理者の実績を基に設定。 (前年比同)	指定管理2期目に入り、自主事業の内容を集客型から参加型(満足度向上)へ比重を置く過程で、前年並みとする。
	対23年度比	100.0%	108.5%	109.6%	109.2%

稼働率(大・小ホール)	63.0%	64.0%	66.3%	64.0%
-------------	-------	-------	-------	-------

4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	115,907,150	111,000,000	115,950,310	118,476,000
	指定管理者委託料	160,000,000	160,000,000	160,000,000	161,713,000
	その他	54,087,061	62,600,000	74,204,574	57,150,000
	収入合計(A)	329,994,211	333,600,000	350,154,884	337,339,000
支出	人件費	100,500,000	99,000,000	100,500,000	103,371,000
	県への納付金	0	0	0	
	管理運営費	222,462,685	234,600,000	243,597,057	233,968,000
	(うち外部委託費)(B)	82,986,908	81,900,000	84,801,193	88,132,000
	支出合計(C)	322,962,685	333,600,000	344,097,057	337,339,000
収支差額(A - C)		7,031,526	0	6,057,827	0
外部委託比率(B ÷ C)		25.7%	24.6%	24.6%	26.1%
利用者一人当りの経費		460	457	456	462

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年4月～26年3月 実施方法：貸館利用者へのアンケート(回答数：679人) 事業参加者へのアンケート(回答数：437人) 利用者目安箱の設置
-------	--

5 - 1 主催者

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設の充実度	97.6%	0.0%	0.9%	1.5%
音響照明装置	89.7%	9.0%	0.4%	0.9%
通路やロビー	89.0%	10.5%	0.4%	0.1%
窓口	96.0%	3.9%	0.1%	0.0%
サービス内容	98.9%	0.0%	0.1%	1.0%
施設の満足度	94.1%	5.6%	0.3%	0.0%
各項目の平均	94.2%	4.8%	0.4%	0.6%

5 - 2 来館者

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
受付・接遇	45.0%	51.0%	1.0%	3.0%
清掃・整理整頓	39.0%	59.0%	1.0%	2.0%
警備・安全管理	35.0%	61.0%	1.0%	3.0%
施設設備	32.0%	60.0%	5.0%	3.0%
事業	63.0%	34.0%	2.0%	1.0%
各項目の平均	42.8%	53.0%	2.0%	2.4%

利用者の意見	和式のトイレは、不便である。 駐車場が狭い。 創作事業は非常に良かった。しかし、PRが足りない。
利用者の意見への対応	徐々に洋式に改修中である。来年度には、終了する見込み。(楽屋溜り除く) 甲府駅周辺の駐車場も視野にいれ、利用者に駐車場の範囲拡大を誘導していきたい。また連携駐車場なども開拓し、混雑緩和に取り組んでいく。 創作事業に関しては特に良い評価をいただくことができた。だからこそPRに力を入れていきたい。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。 また、省エネルギー対策を継続して実施受電容量を900kwに引き下げた。	・管理業務仕様書、業務計画書に示されたとおりの維持管理が適切に行われた。 ・省エネルギーへの取り組みも積極的に実施された。
運營業務	「山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例」及び「山梨県立県民文化ホール利用及び利用料金に関する事務取扱要綱」を遵守し、業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。	・業務計画書に基づき適正に運営された。
自主事業	業務計画書に基づいた事業を適正に実施できた。 国民文化祭の成功に向け有効な取り組みができた。 県民参加の創作事業を数事業において実施し、いずれも成功させることができた。	・業務計画書に基づき適正に事業が実施されている。 ・国民文化祭に関する催しも積極的に展開し、また、県民参加型の事業を実施するなど、積極的な取り組みは評価できる。

利用状況	<p>利用者数は対前年比101%と微増ではあったが、目標値の35万人越えを達成した。稼働率も大ホールは3ポイント減であったが、小ホールは11ポイント増と大幅に伸びた。利用者の節約傾向が垣間見られる。また、2年前からスタートした一般の方も気軽にステージに立って発表できる場「ミルク県民ステージ」の利用者も同290%(10回 29回)と大幅に増加している。今後も身近な文化発信の場としての役割を果たしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書に基づいた事業が実施されている。 ・国民文化祭に関する催しの展開、グループ企業の媒体を活用した広報などにより、利用者数は35万人を超え、目標を達成した。 ・大小ホールの稼働率も概ね前年と同程度または増加となった。 ・県民ロビーを活用した事業や県民参加型の事業など、県民により身近に文化芸術に触れる機会を創出するなど、積極的な取り組みは評価できる。
収支状況	<p>施設利用料はほぼ前年並みで推移したが、創作事業を数多く実施したため、支出が非常に多く、また2月の豪雪時の除雪費等イレギュラーの出費がかさみ、収支面では厳しかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収入、事業支出とも計画より若干増加したが、概ね計画どおりとなっており、収支状況は安定している。
利用者満足度	<p>利用者アンケート、目安箱から意見を収集した。概ね高い評価をいただいている。昨年度を上回る評価をいただいた。建物の老朽化に対するご意見が多かったが、大規模改修を伴うものについては長期的プランを作成し県と調整する必要がある。軽微のものについては、適宜対応している。今後も多くの意見を参考に利用しやすい施設作りに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書、業務計画書に基づき、利用者アンケートや目安箱の設置が実施されている。 ・主催者、来館者とも概ね90%以上の高評価を得ている。 ・今後も引き続き利用者ニーズを把握し、管理運営に反映させるよう努力が期待される。
運営目標の達成状況	<p>利用者数は5年目にして初めて目標値を超えることができた。稼働率も前年実績を上回ることができた。一方、収支状況については、稼働率が伸びた割には利用者の節約傾向が強く(大ホールから小ホールにシフト等)利用料は伸び悩み、また修繕費、豪雪時の除雪費などがかさみ支出は増加した。しかし従来から取り組んでいる省エネ対応などで、下げ幅を最小限に抑えることができた。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務、運營業務、主催事業等については、条例、提案書、協定書、業務計画書等に基づき、概ね適正に実施された。 ・平成25年度は、主催事業の入場者数及び全体の利用者数については目標を上回り、特に全体の利用者数は平成3年以来22年ぶりに35万人を超えた。 ・大小ホールの稼働率については、目標を若干下回っている。 ・平成26年度は、積極的な事業展開、広報活動、営業活動等により、施設稼働率の向上と、利用者数の維持を図る取り組みを期待する。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>中央のプロモーター、アーティスト事務所に対してのホール利用促進の営業活動を強化する。また、ホール利用の割引制度を見直し、ホールを気軽に利用できる環境を整え、稼働率の向上、利用者数の維持を図る。さらに、従来のホームページ、イベントニュース、ラジオ番組内での催し物の広報に加え、文化ホールのイメージCMをテレビで流し、その中で自主事業を告知することにより、広く県民にアピールできるような仕掛けを考える。</p>	

7 管理体制(組織図)

